

# テクテキスタイル研究会(第61回)研究例会

近年、繊維の素材開発が進み、ユニークな取り組みを行う企業が増えています。日本の繊維業界も新たなもの作りが世界的な流れになっていることを見据え、素材の開発および新たな繊維素材を使用した実用化は重要な課題の一つとなっております。今回の講演会では、ナノファイバー・多孔質炭素材料・バイオマスナイロン素材・衝撃吸収性繊維といった新たな技術により開発された繊維素材の現状および今後の展開等についてご講演いただきます。用務ご繁忙とは存じますが、是非ご参加ください。

日時：令和4年1月19日(水) 13:30~16:45

会場：オンライン開催(Teams)および福井県工業技術センターA508(福井市川合鷺塚町61字北稲田10)

福井県工業技術センター：JR福井駅下車 路線バス約25分、京福バス2番のりば28系統 運転者教育センター線つくしの団地下車徒歩約3分

主催：福井県繊維技術協会

共催：日本繊維機械学会テクテキスタイル研究会、福井県工業技術センター

内容：「新たに開発が進む繊維素材」

13:30~13:35 開会あいさつ

福井県繊維技術協会 会長 堀 照夫

13:35~14:20 (1)「実用化ナノファイバーの現実」

信州大学 金 翼水

14:20~15:05 (2)「米の籾殻を原料とした多孔質炭素材料 Triporous (トリポーラス) の開発と応用」

ソニー知的財産サービス(株) 山ノ井 俊

15:15~16:00 (3)「バイオマスナイロン素材：「キャストロン」について」

ユニチカトレーディング(株) 中川 皓介

16:00~16:45 (4)「衝撃吸収性繊維〈スパンドール®〉及び弊社環境対応製品に関して」

クラレトレーディング株式会社(株) 小野木 祥玄

参加費：テクテキスタイル研究会メンバーは無料

個人メンバーの方は本人に限り、企業・団体メンバーの方は複数名参加可能

会場の定員：20名(福井県工業技術センター)

オンラインの定員：なし

参加登録：2022年1月12日(水)までに、①所属、②氏名、③連絡先(所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④参加方法(オンラインもしくは福井県工業技術センターA508)を記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。別途オンライン接続方法をご案内します。

オンライン接続方法：参加申込者に接続方法をご案内します。

申込先：日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6F

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp